

学校関係者評価報告書

(内子高等学校)

学校番号(33)

評価実施日	令和 7 年 2 月 26 日(水)		
委員	氏 名	所 属 等	備 考
	越 智 益 子	同窓会副会長	
	宮 岡 圭 介	文化・体育後援会副会長	書面
	沼 井 高 志	PTA会長	
	石 崎 耕 一 郎	内子中学校教頭	

評 価 ・ 提 言 等	提言等に対する改善方策等
<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学習指導 「自主学習 1日3時間以上」を達成するには、保護者よりも教員の指導力が頼りである。</p> <p>総合的な探究の時間の取組の中に、内子町の観光業発展につながる良い発想(英語ガイド、空家対策等)があり、今後も引き続き地域貢献に結び付くよう研究を深めてもらいたい。</p> <p>総合的な探究の時間の活動に、高校生ビジネスプラングランプリ等のコンテストへの参加を取り入れれば、外部にもアピールができる。</p> <p>(2) 生徒指導(部活動・特別活動) 郷土芸能部の活動の中で、地域の伝統芸能である「神楽」の継承に協力してもらいたい。</p> <p>地域住民が自由に参加できる文化祭は、中学生にアピールできる絶好の機会と捉え、中学校へも積極的に案内するとよい。</p> <p>(3) 進路指導 地域の看護師不足、医療スタッフ不足が危惧される中、医療系大学・専門学校への進学者が十数名いることは大変喜ばしいことであり、卒業後は地元に戻ってきてもらいたい。(行政側の支援不足も感じている。)</p> <p>キャリアデザイン講座の取組は、もっと外部にもアピールするとよい。</p> <p>2 学校運営への提言</p> <p>(1) 学校の存続について 外部に向けての情報発信が弱いと感じられるので、もっと多くのメディアで内子高校をアピールしてほしい。</p> <p>母校が無くなることは避けたいので、当事者である生徒たちにも志願者を増やす方法を考えさせてみるとよい。</p> <p>(2) 中高の連携について 生徒指導(協力)・部活動(交流)・進路指導(情報共有)・探究活動(発展的学習)等において、中高の連携が大事である。</p>	<p>・各教科で日々の課題等を適切に提供し、家庭学習習慣の確立・定着に努めたい。また、学ぶことの必要性や意義等についても理解を促し、生徒の意識変容を図りたい。</p> <p>・総合的な探究の時間については、今年度より地域の課題発見・解決に取り組んでおり、次年度以降は研究テーマや探究活動の内容等を更に発展させて、地域にも役立つものにしていきたい。</p> <p>・1年間の流れや研究題材等、ある程度活動の見通しが立つようになる頃を見計らい、コンテストのための探究活動にならないように注意しながら、コンテスト等への参加についても検討していきたい。</p> <p>・実現可能かどうかは、郷土芸能部の活動内容や部員数等を踏まえ、担当顧問らに判断してもらいたい。</p> <p>・文化祭のポスターを町内に掲示する際、近隣中学校にも配布し、校内掲示と積極的な参加を呼び掛けてもらうようにしたい。</p> <p>・地元就職先があるかどうかという問題はあっても、総合的な探究の時間の取組を通して、地元に対する興味・関心や愛着を感じさせる教育を続けたい。</p> <p>・将来は地元に戻りたいという志望理由を述べる生徒は比較的多いと感じる。</p> <p>・今年度から始めた取組であるが、次年度以降も講座内容や外部講師等を充実させ、本校のアピールポイントの一つとなるように取り組んでいきたい。</p> <p>・今年度は、外部からの取材要請は幾らかあったものの、学校発信の取材はほぼ無かったため、積極的な情報発信ができるように、全教職員で意識的に取り組んでいきたい。</p> <p>・今年度設置した魅力化発信室を中心に、改めて本校のアピール方法を模索していきたい。</p> <p>・生徒目線の意見を反映したり、生徒が学校をアピールしたりする方法について、各担当で検討・実践していきたい。</p> <p>・地域や小中学校との連携が深められるよう、なるべく早期にコミュニティスクール導入を実現したい。</p>